

役所さんちの家計簿

【想定している役所さんちの家族構成】

◆宇土市在住の役所さんちは4人家族です。
 お父さん・・・地元企業のサラリーマン
 お母さん・・・近所のスーパーでパート
 長男・・・県外大学生
 長女・・・保育園児



～宇土市を一般家庭に例えたら～

市の決算をより身近に感じていただけるように、平成23年度の市の決算状況を、「役所さんちの家計簿」に例えてお知らせします。お父さんの給与を民間企業の平均給与の額と仮定し、市の財政を一般家庭の家計に置き換えて仮定の家計簿を作成しました。市の財政と一般家庭の家計では内容が違っているので単純に比較はできませんが、難しそうと思わずにご覧ください。

役所さんちの家計簿

(※カッコ内は、市の会計での項目)

役所さんちの収入		
項目	23年度	前年度比
お父さんの給与	503万8千円	+8万7千円
基本給(地方税)	148万7千円	+4万2千円
諸手当 (地方交付税、各種交付金、国県支出金)	355万1千円	+4万5千円
お母さんのパート収入 (使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入)	62万4千円	+18万6千円
その他臨時収入 (寄附金、財産収入等)	4万3千円	+3万4千円
ローンの借入(地方債)	83万円	+26万3千円
前年の残金(繰越金)	35万円	+10万9千円
貯金の取り崩し(繰入金)	1万8千円	+1万4千円
合 計	690万3千円	+69万3千円

役所さんちの支出		
項目	23年度	前年度比
食費(人件費)	87万円	▲7万1千円
医療費や長女の養育費 (扶助費)	134万5千円	+4万1千円
ローンの返済(公債費)	79万5千円	+1万2千円
生活雑費(物件費)	47万2千円	+5万2千円
家や庭の手入れ・修繕など (維持補修費)	4万7千円	+5千円
家の増改築や家財道具購入 (普通建設事業費)	144万8千円	+52万1千円
地震・台風災害の応急処置 (災害復旧費)	1万9千円	+1万1千円
長男への仕送り(繰出金)	61万9千円	+1万9千円
区費やサークル・会合への 会費など(補助費等)	53万7千円	▲4千円
貯金(積立金)	12万2千円	+7万9千円
株式投資(投資および出資金)	0千円	0千円
友人への貸付(貸付金)	8万円	0千円
合 計	635万4千円	+66万5千円

※給与額については、国税庁の平成23年分民間給与実態統計調査による平均給与額を参考にしています。

宇土市の収支

市の歳入(一般会計)		
項目	23年度	前年度比
地方税	37億1,228万5千円	+1億365万1千円
地方交付税、 各種交付金	49億510万8千円	+710万7千円
国県支出金	39億6,360万7千円	+1億595万7千円
使用料・手 数料、分担 金・負担金、 諸収入	15億5,844万1千円	+4億6,439万5千円
寄附金、財産 収入	1億745万5千円	+8,513万7千円
地方債	20億7,184万7千円	+6億5,625万8千円
繰越金	8億7,484万7千円	+2億7,209万7千円
繰入金	4,557万2千円	+3,585万円
合 計	172億3,916万2千円	+17億3,045万2千円

市の歳出(一般会計)		
項目	23年度	前年度比
人件費	21億7,226万3千円	▲1億7,654万6千円
扶助費	33億5,847万4千円	+1億203万8千円
公債費	19億8,613万6千円	+3,078万円
物件費	11億7,881万2千円	+1億3,089万円
維持補修費	1億1,837万8千円	+1,348万9千円
普通建設事業費	36億1,636万8千円	+13億239万4千円
災害復旧費	4,666万4千円	+2,643万6千円
繰出金	15億4,517万1千円	+4,727万3千円
補助費等	13億4,160万5千円	▲817万5千円
積立金	3億486万4千円	+1億9,629万2千円
投資及び出資金	0千円	0千円
貸付金	2億円	0千円
合 計	158億6,873万5千円	+16億6,487万1千円

※平成24年度へ繰り越すべき財源3億9,709万5千円を除く実質的な収支は、9億7,333万2千円となります。

※市の歳入歳出は、端数処理のため計が一致しない場合があります。

収入の状況は…役所さんち全体で 69 万 3 千円増加しました。

◆お父さんの給与が 8 万 7 千円増加しました。

市の歳入項目…地方税・地方交付金及び各種交付金・国県支出金

地方税収入が、2.9%増収したことや、社会資本整備総合交付金をはじめとする国県の交付金が増加したことなどが影響しています。

◆ローンの借入は 26 万 3 千円増加しました。

市の歳入項目…地方債（お金の借り入れ）

地方債借入額は、6 億 5,625 万 8 千円増加しました。道路整備等に係る社会資本整備事業債 3 億 9,710 万円や農業活性化基盤整備事業債 1 億 6,860 万円などが主な要因です。

支出の状況は…支出は役所さんち全体で 66 万 5 千円増加しました。

◆食費は 7 万 1 千円減少しました。

市の歳出項目…人件費（市議会議員や職員の給与・退職金など）

人件費は 1 億 7,654 万 6 千円減少しました。前年度と比べ、退職者が少なかったため、退職金が減少したことが大きな要因となっています。職員数削減は今後も継続的に取り組んでいきます。

◆医療費や長女の養育費が 4 万 1 千円増加しました。

市の歳出項目…扶助費（社会福祉充実のための費用）

扶助費は、1 億 203 万 8 千円増加しました。主な要因は、子ども手当の増加などです。扶助費は毎年増加傾向にあり、この伸びは今後も継続するものと予測しています。

◆家の増改築や家財道具の購入費用が 52 万 1 千円増加しました。

市の歳出項目…普通建設事業費（道路など公共施設などの整備に要する費用）

国の補助を受けて行う事業（農業活性化緊急基盤整備事業、社会資本整備総合交付金事業など）は、10 億 1,486 万 9 千円増加しました。市単独で行う事業（宇土小耐震改築事業単独分など）は、2 億 8,635 万 3 千円増加しました。

◆預貯金への積立額が 7 万 9 千円増加しました。

市の歳出項目…積立金（財政調整基金のほか、庁舎建設基金等特定目的基金などへの積立金）

積立金は 1 億 9,629 万 2 千円増加しました。庁舎建設基金に 2 億 9,548 万 7 千円を積み立てたことが主な要因となっています。

家計の収支は…平成 23 年度の役所さんちの家計は、54 万 9 千円の黒字でした。

◆収入は、平成 22 年度と比べて 69 万 3 千円増加しました。

◆支出は、平成 22 年度と比べて 66 万 5 千円増加しました。

よくある質問…皆さんからよくお尋ねがあることについて、お答えします。



Q 扶助費や補助費ってどういうもの？

A 市の歳出項目を性質別にみると、下の表のような分類になります。

歳出項目（性質別）	内 容
じんけんひ 人件費	職員給与や議員・非常勤職員報酬など
ふじよひ 扶助費	生活保護費や子ども手当、保育所運営費など法令に基づくものや市が単独で行う子ども医療費助成など
こうさいひ 公債費	市の借金である市債の元金と利子の支払い
ぶつけんひ 物件費	賃金、旅費、需用費、委託料、備品購入費などの消費的性質をもつ経費
いしほしゅうひ 維持補修費	道路や公共施設等の維持管理のための経費
ふつうけんせつじぎょうひ 普通建設事業費	道路、橋、学校、公園などの公共施設の建設や用地取得などに必要な経費
さいがいふっくきゅうひ 災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費
くりだしきん 繰出金	一般会計、特別会計の間で、相互に資金運用をする場合の支出
ほじょひとう 補助費等	市から一部事務組合や民間に対して交付されるもので、謝礼、保険料、負担金、補助金など
つみたてきん 積立金	基金（貯金）の積み立てに要する経費
とうし しゅつしきん 投資および出資金	株式の取得や財団法人設立の際の出捐金、開発公社等への出資金など
かしつけきん 貸付金	地域住民の福祉増進や地域振興を図るため、市が直接あるいは間接的に現金の貸付を行うための経費

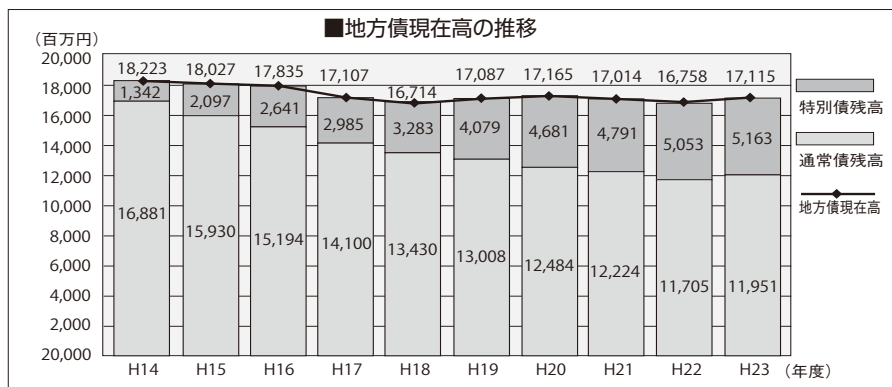


Q 宇土市の借金はどれくらいあるの？

A 地方公共団体の「借金」ともいえる地方債の現在高は、平成 23 年度末で 171 億 1,452 万円となりました。この地方債残高のうち、51 億 6,340 万円が特別債といわれる後年度に借入の元利償還金のほとんどが交付税等で収入されるもので、ここ 10 年間増加してきました。

一方、通常の地方債残高は、平成 23 年度末で 119 億 5,112 万円となり、昨年度までは減少傾向にありましたが、平成 23 年度増加に転じました。主な要因は、小学校の耐震改築工事に伴う学校教育施設等整備事業債や国の経済対策に伴う補正予算債等の発行によるものです。

市では、できるだけ新たな地方債の借入を抑え、市民の皆さまの負担を軽減できるよう努力しています。



※特別債とは、臨時財政対策債等の特別な政策目的で発行する市債で、その元利償還金が地方交付税で措置される市債および元金全額が法人から償還される地域総合整備資金貸付債です。



Q 市民 1 人当たりの負担はいくらになるの？

A まず平成 23 年度の地方債償還分について換算してみましょう。

平成 23 年度の地方債償還金（公債費）19 億 8,613 万 6 千円から、交付税や貸付先からの返還金、その他償還金の財源となる収入（公営住宅使用料、借換債等）を差し引いた額 9 億 9,187 万円が市民の皆さまの負担額となります。これを宇土市の人口 1 人当たりに換算すると約 2 万 6,300 円となります。

では、平成 23 年度末現在での地方債残高に対する負担はどうでしょう。平成 23 年度末地方債残高が 171 億 1,452 万円ですので、宇土市の人口 1 人当たりに換算すると 45 万円となります。しかし、前にも説明したとおり、地方債の中には償還金に対して交付税や財源として収入されるものがありますので、これらを差し引いた地方債残高は約 83 億円となり、人口 1 人当たりに換算すると約 22 万円が市民の皆さまに今後で負担をお願いする額となります。